

令和 7 年度新居浜市消防委員会 会議録

【日 時】 令和 7 年 6 月 2 0 日（金） 1 5 時 3 0 分から 1 6 時まで

【場 所】 消防防災合同庁舎 3 階会議室

【出 席 者】 新居浜市長 古川 拓哉

（敬称略） 委員 5 名

市議会議員 近藤 司 藤田 誠一 越智 克範

学識経験者 高橋 克彦 秋月 恭子

消防職員 1 0 名

消防長 後田 武 総括次長兼消防総務課長 高橋 茂雅

北消防署長 伊藤 英知 川東分署長 森 淳

南消防署長 四ツ田 和寿 警防課長 柴田 三輝

予防課長 宮武 太郎 通信指令課長 岡野 公則

北消防課長 岡 政昭 南消防課長 井戸 章夫

事務局 3 名

消防総務課 守谷副課長 菊池副課長 石川主任

【欠 席 者】 委員 2 名

学識経験者 石川 隆文 徳久 恵子

【傍 聴 者】 0 名

【会 議 録】

1 開 会

2 市長あいさつ

市長の古川でございます。

令和 7 年度新居浜市消防委員会の開会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。まずは、委員の皆様におかれましては、ご多忙の折にもかかわらずご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、日頃より市政全般にわたり、格別のご理解とご協力をいただいておりますことに対し、心より厚く御礼申し上げます。

さて、今年 2 月下旬には岩手県大船渡市で、また 3 月には岡山市、今治市、宮崎市と全国各地で山林火災が相次いで発生いたしました。近隣の今治市における火災では、焼損面積が約 4 2 2 ヘクタール、住家 5 棟を含む 2 3 棟が全焼するなど、極めて甚大な被害となりました。

また、政府の地震調査委員会によりますと、南海トラフの巨大地震が今後 3 0 年以内に起きる確率について、令和 7 年 1 月 1 日時点でこれまでの「7 0 %から

80%」が「80%程度」に引き上げられ、より切迫性の高い状態であると言われております。愛媛県地震被害想定調査結果では、新居浜市における南海トラフ巨大地震による被害想定は、最大震度7、建物被害として全壊・半壊合わせて全体の61%にあたる48,033棟、死者が1,841人となっております。

加えて、近年では台風や記録的な豪雨といった風水害も全国各地で頻発しており、人的・物的被害が後を絶ちません。

もはや自然災害は「いつか起きる」ものではなく、「いつでも起こり得る」ものとして捉える必要があります。

こうした状況を踏まえ、本市といたしましては、発生が危惧される南海トラフ巨大地震や大規模災害に備え、市民や企業・団体、行政による連携をこれまで以上に進め、地域が一体となった「防災能力の強化」に取り組み、まちの強靱化を進めてまいりたいと考えておりますので、委員の皆様方におかれましては、引き続き、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

このあと、事務局から本日の議案について詳細説明がございますが、どうか忌憚のないご意見をいただき、また十分なご審議をいただきますよう、お願いいたします。開会にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

3 消防委員及び消防幹部職員紹介

………… 〈 消防委員及び消防幹部職員自己紹介 〉 ………

4 消防委員長選出

………… 〈 全員一致で近藤 司委員を委員長に選出 〉 ………

5 消防委員長あいさつ

………… 〈 近藤委員長あいさつ 〉 ………

6 議案

………… 〈 近藤委員長議事進行 〉 ………

議案（1）令和7年度消防行政基本方針について 【消防長説明】

議案（2）令和7年度消防の事務概要について 【総括次長説明】

議案（3）令和7年度消防行事予定について 【総括次長説明】

議案（4）その他

………… 〈 質疑なし 〉 ………

7 閉会